



NPO PTPL “ともいき” 便り No.128

平成 29 年（2017 年）8 月 7 日発行

■立秋（りっしゅう） 8 月 7 日から 8 月 22 日までの節気

みなさま、残暑お見舞い申し上げます。「立秋」の節気に入ったので、8 月いっぱいまで、「残暑お見舞い」になります。まだまだ暑いですが、やっと「秋」という漢字が出てきました。「忘れ扇」という言葉があります。涼しくなってきた秋が深まるにつれ、使われることがなくなって部屋のすみにおきっぱなしにされた「うちわ」や「扇子」のことをいいます。今は8月の初旬ですから、まだまだうちわや扇子を忘れることはできませんね。

立秋のころ、よく耳にする和歌があります。

“秋来ぬと、目にはさやかに見えねども、風の音にぞ おどろかれぬる “

古今和歌集に収められた藤原敏行の和歌です。「秋がきたというけれど、まだ目には見えません。でも吹く風に秋の気配を感じておどろきました」という藤原俊行の心情が詠まれています。現代に生きる私たちにもよくわかります。小さな秋に、はやく出会いたいです。

先日、お花屋さんで桔梗を買いました。薄い紫色の地味な花。派手なひまわりの隣で逆に目立ちました。桔梗は秋の七草の一つなので秋の花かと思いきや、花の時期は7月から9月なんです。花も清楚できれいですが、つぼみのかわいらしいこと。葉っぱとおなじ薄緑色をしていて、風船のようにふくらんでいるんです。英名でバルーンフラワーといいますが、このつぼみの形からそうよばれているのかもしれませんが。花言葉は「誠実」。そんな感じのする花です。

立秋をさらに3つにわけた七十二候では、きょうから 11 日までが、「涼風至る」です。風といえば、「アイの風」という名前の風があります。「沖からふく夏のそよ風」のことだそうです。

♪名もしらぬ、遠き島より ながれよる やしのみひとつ♪という島崎藤村が作詞した「椰子の実」という歌があります。民俗学者の柳田國男が、夏、三河の伊良湖崎の突端でながれてきた椰子の実を三度見たそうです。そして、この椰

子の実は、「沖から渚にむかって吹き寄せる風」、つまりアイの風が運んできたものだと考えました。その話を友人の島崎藤村にしたところ、この「椰子の実」の歌詞が生まれたのだそうです。

アイの風と椰子の実。柳田國男と島崎藤村。なんだかいい話ですね。

8月11日は山の日で祝日です。お盆休みとつなげて長くお休みされる方もいらっしゃることでしょう。南国土佐では、9日から12日まで、「よさこい鳴子踊り」。おなじ四国の徳島では12日から15日まで「阿波踊り」。そして7月8日から9月2日まで行われているのが郡上八幡の「郡上おどり」で、13日から16日の4日間は徹夜踊りです。ふるさとに戻った人、旅行で訪れた人、みんな一緒に踊って盛り上がりましょう。

みなさま、くれぐれも体調に気をつけて休暇を楽しくお過ごしください。仕事の方は（私もです）、がんばりましょう。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●「空蟬（うつせみ）」と「蟬の抜け殻」。

ジャパネスクのサイトのトップページの映像「暑中見舞い」をご覧になると空蟬（蟬の抜け殻）の映像がご覧いただけます。

ジャパネスク：<http://www.japanesque.tokyo/>

蟬の卵は木の幹や枝に産み付けられますが、そこで孵化した幼虫は地中に潜り、木の根の汁を吸って成長します。その地中生活は数年から十数年間に及ぶものもあります。十分に成長した幼虫は夏になると地上に這い出してきた、木の幹や枝に六肢をしっかりと固定して脱皮します。

羽化を果たした蟬が翔び立った後には抜け殻がそのまま残ります。（蟬は脱皮して2～3週間の短い生命です。）これを空蟬と呼んでいます。

その姿は人々に何かしら哀れを誘い、古来、空しいこと、儂いことの喩にも使われています。蟬の抜け殻といえば、何も別に感じませんが、空蟬と呼ぶと、

儂いこと、むなしいことと感じられます。

これが日本人のものの見方、感じ方、つまり日本人の感性、ジャパネスクです。

●曜日と数字の羅列だけの季節感や自然を全く感じない太陽暦を「二十四節気七十二候」と組み合わせることによって、こんなにも生き生きと季節観が蘇り、自然の神秘さや不思議さに目を見張る感性を育てる暦になったのです。これが「ともいき暦」です。

日本人らしからぬ人も多くなっている昨今、“日本的なるものジャパネスク”を取り戻す基本は一日一回「ともいき暦」です。

大いなる回帰循環する自然のもとにあって、人も生きとし生けるものも共に和み、生命のつながりを重んじてきた日本人を、一日一回「ともいき暦」で感じましょう。

ともいき暦 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2017/>

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●8月13日から8月16日の期間は月遅れのお盆です。

関東は7月13日から7月16日の期間、関西は月遅れのお盆が一般的です。

ちなみに、お盆休みは月遅れのお盆を指しています。

どちらの期間であろうとも、先祖に対し感謝と供養に手を合わせる時間を持ちましょう。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

●NPO PTPL は「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」

(<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>) をお読みください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp